

思考を変えて住民の本当の
ニーズを探る!

デザイン思考を活用した新たな行政課題の解決方法

～住民とつくる本気の政策提案～

社会が成熟していく中で、従来行ってきた考え方や手法では、住民のニーズの変化などに対応できなくなっている現状があります。

この研修では、DXとも相性が良く、ユーザー視点に立ってサービスや商品の本質的な課題・ニーズを発見し課題を解決するための思考法として、主に大学や企業で導入されている「デザイン思考^(※)」の基礎をはじめ、「リビングラボ」など地域での実践事例を参考に、活用メリットや、具体的な導入プロセスなどを学び、デザイン思考を活用した行政課題の解決に向けた企画・実施について考えます。

※デザイン思考とは?

デザイナーがデザインをおこなう際に用いられるプロセスを体系化したもので、ユーザーの視点で課題の解決策を探る思考法です。デザイン思考を実践する際には、1観察・共感、2定義、3概念化、4試作、5テストの5つのプロセスを踏んでいきます。作り手ではなく使い手の視点で、試行錯誤を繰り返しながら、課題の本質を見つけていく点が大きな特徴であり、前例のない課題に直面したり、商品やサービスの改善策に行き詰まったりした際に役立つ考え方と言われています。

開催要領

日 程

令和5年10月11日(水)～10月13日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

企画課、住民協働、産業振興、環境政策、健康福祉等、
デザイン思考を業務に取り入れたいと考えている市町村等職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年8月25日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

10月
11日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:00

講義 自治体にとってのデザイン思考

～実践の意義、取り組み方、DXとのかかわり～

一般社団法人行政情報システム研究所主席研究員／立命館アジア太平洋大学
准教授／事業構想大学院大学客員教授／有限会社 D's Link 取締役CEO

狩野 英司 氏

デザイン思考の基本的な考え方およびデザイン思考を自治体に導入する意義についてお話しいただきます。

15:10~17:10

講義 社会と行政を変えるデザインの可能性

一般社団法人STUDIO POLICY DESIGN 代表理事 **橋本 直樹 氏**

政策立案の現場におけるデザインの考え方や実践例を知り、行政官としてのデザインアプローチを実践していただきます。

17:40~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介1 「日野リビングラボ」の取り組み

東京都日野市企画経営課

日野市のリビングラボは産学官民の対話型プラットフォームとして2019年に立ち上げられました。「地域での暮らしから次世代のサービスを生み出す場を共に創ろう!」をテーマに実践されている日野リビングラボについてご紹介いただきます。

10:50~12:00

事例紹介2 小千谷リビングラボ[at!おぢや]の取り組み

新潟県小千谷市にぎわい交流課

[at!おぢや]は、病院跡地に整備する図書館等複合施設について、市民と事業者と行政によって進める対話と活動の場です。毎回50人を超える参加者が集まる小千谷市のリビングラボについてご紹介いただきます。

13:00~17:00

演習 地域を変える政策デザイン

～デザイン思考の実践に向けて

株式会社コンセント サービスデザイナー／HCD-Net認定 人間中心設計専門家

小山田 那由他 氏

デザイン思考の思考プロセスについて、実践的な視点からお話しいただきます。受講者の方には、課題解決のためのツールとしてのデザイン思考について、ワークを通して体感していただきます。

9:25~12:00

講義・演習 行政課題解決の仕組みとしてのリビングラボとその実践

地域創生Co デザイン研究所 ポリフォニックパートナー／東京理科大学客員准教授

木村 篤信 氏

自治体が、市民や企業と共創して行政課題を解決する方法論として、欧州を中心にリビングラボが注目されています。地域創生、DX、市民協働などが必要とされる日本の自治体において、リビングラボがどのように活用可能なのか、実践事例を交えてお話しいただきます。また、受講者の方には行政課題解決に向けた実践的な企画について考えていただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和5年

10月
12日(木)

令和5年

10月
13日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。